

PTA親子講演会より

6/21（金）に加藤恵一先生をお招きし、「少子高齢化における不妊治療の役割～生命（いのち）の始まりを考える～」という演題で講演を行なっていただきました。加藤先生は根上中学校出身で、現在は東京で「加藤レディースクリニック」院長として不妊治療を専門に活動されています。少子高齢化問題や命の大切さ、最新の研究などについてわかりやすくお話ししていただきました。

講演を終えての二人の3年生の感想紹介します。



私は今回の講演を聞いて、不妊治療への感謝の気持ちが大きくなりました。私自身不妊治療で生まれた子どもの一人です。ですから加藤さんのような不妊治療に関わる先生のお陰で、私の両親に笑顔をくれた人だと思っています。実際に私が生まれるまで8回の流産を私の両親は経験しています。ですから本当に確率の低い大変貴重だということを感じるとともに命の大切さやありがたみがすごく分かる講演でした。このことをたくさんの人に知って頂けたら良いと思いました。

今日は、講師の加藤さんに命についてお話をしていただきました。私も一人の女性として、女性のからだについて詳しく知ることができました。また、不妊になる確率は6組に1組で、子供を産みたくても産めない人がたくさんいるのだと思いました。そして、こうして今生きていることはすごく幸せなことなのだと思います。だから、簡単に「死にたい」なんて言うてはいけないと思いました。

いよいよ夏休み

一人ひとりの子ども達が、それぞれの思いを持って、いよいよ明日から夏休みです。全員が充実した夏休みを過ごし、大きく成長して欲しいと思っています。

3年生へ

多くの3年生は、いろんな思いをもって部活動に区切りをつけました。この夏は受験勉強への切り替えが大きな課題です。部活動で感じた達成感や大きな後悔、そして感謝の気持ちなど、部活動で学んだ大切なことを生かして、3月の目標に向かい全力で走り出して欲しいと思います。3月には全員が15の春の喜びをつかみ取って欲しいと思います。また、学校のリーダーとして運動会等の学校行事にも全力を尽くしてくれることを期待しています。

2年生へ

2年生は、部活動のリーダーとして新人戦に向かい動き出しました。まず、「返事・挨拶・素早い行動」の3つができる部活動を目指して欲しいと思います。これらは、人としての基礎・基本だと思います。そして、これらができたとき、不思議ですが必ず部活動の成績は向上します。高い目標に向かい、苦しくてもみんなで心を合わせて頑張る、やり遂げる—ここに部活動の大きな意味があると思います。また、職場体験も、普段学校ではなかなか学べない大切なことを学ぶ場だと考えています。職場に受け入れてくれた方々に感謝し、3日間一生懸命働いて欲しいと思います。職場体験でも「返事・挨拶・素早い行動」の3つが大切です。3日間で一人でも多くの子ども達が働くことの厳しさや喜びを感じて、自分自身の将来について考えるきっかけになればと考えています。

1年生へ

新しいスタートはどうですか。この夏休みは、3年生が部活動から引退し、皆さんも本格的に練習に参加すると思います。練習は当然厳しくなると思いますが、自分自身のために頑張ってもらいたいと思います。学習面の取組や運動会への取組も含め、先輩が築いてきた伝統のバトンを引き継ぎ、新しい根上中学校を築く学年として多いに期待しています。